

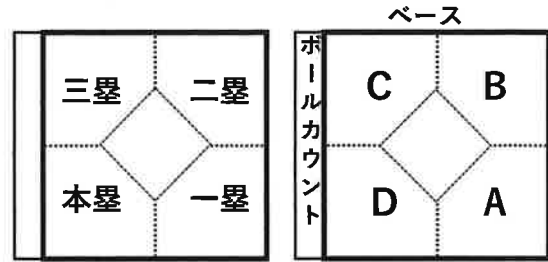
# 公式記録表記

兵庫県高等学校野球連盟公式記録委員会  
2026年1月20日

## 1 ポジションの表記

1	投手	..... P	ピッチャー
2	捕手	..... C	キャッチャー
3	1塁手	..... 1B	ファーストベースマン
4	2塁手	..... 2B	セカンドベースマン
5	3塁手	..... 3B	サードベースマン
6	遊撃手	..... SS	ショートストップ
7	左翼手	..... LF	レフトフィルダー
8	中堅手	..... CF	センターフィルダー
9	右翼手	..... RF	ライトフィルダー
DH 指名打者・ディグネイティドヒッター			

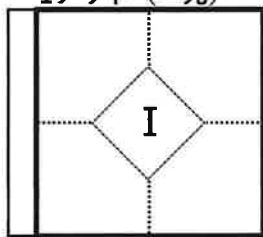
## 2 ベース記号の表記



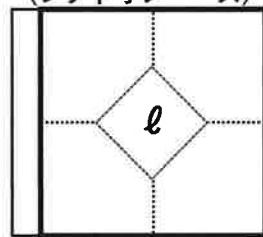
- 一塁 打者の打席結果を記入する
- 二塁 一・二塁間のプレイ結果を記入する
- 三塁 二・三塁間のプレイ結果を記入する
- 本塁 三・本塁間のプレイ結果を記入する

ベース (A・B・C・D)は捕球した野手が自ら触塁して走者をアウトにした場合、  
※3A, 6B のように記入する

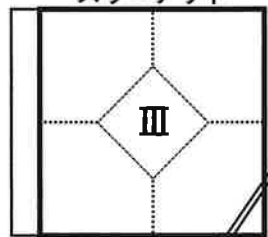
## 3 アウトカウントの表記



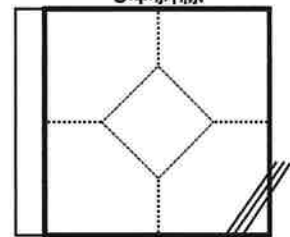
## 残塁の表記



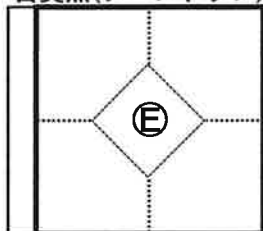
## イニング終了の表記



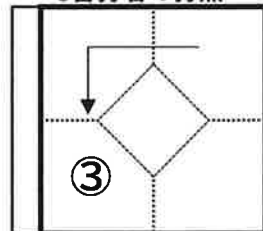
## 試合終了の表記



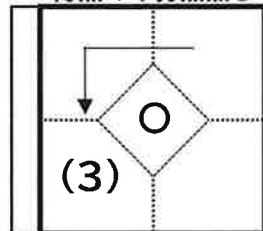
## 得点の表記



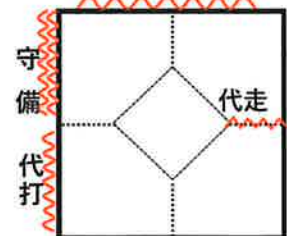
## 打点の表記



## 打点無し



## 投手交代



\* 非自責点はO

## 4 ボールカウント記号

○	見逃しストライク
×	空振りストライク
+	バント空振り

—	ファウルボール
〰	バントファウルボール
●	ボール

# 公式記録記号表

## 5 打撃結果・出塁・進塁・アウト他の記号

兵庫県高等学校野球連盟公式記録委員会

2026年1月20日

K	[空振り三振]カウント欄に三振目×を記入 [見逃し三振]カウント欄に三振目○を記入
Y 2E→3	[振り逃げ三振] 捕球出来ずかつ捕手が一塁へ悪送球
K <sup>3</sup> ^^	[バント失敗三振] ツーストライク後の投球をバントしてファウルボール
K 2-3	[振り逃げ三振] 捕球出来ずかつ捕手が一塁へ送球してアウト
K 2TO	[振り逃げ三振] 捕手が打者にタッグしてアウト
K 2PO	[振り逃げ三振]捕手に刺殺(プットアウト) ダートサークルを出て走塁放棄アウト
Yw	[三振と暴投] 三振するも暴投で出塁
Yp	[三振と捕逸] 三振するも捕逸で出塁
Y	振り逃げ出塁で暴投、捕逸の付かないケース (走者アウトの間の出塁)
5-3	[ゴロアウト] 三塁ゴロ、一塁送球アウト
3-1A	[ゴロアウト] 一塁ゴロ、投手がベースカバーに入りアウト
8	[フライアウト] センター(中堅)フライ
F9	[フライアウト] ライト(右翼)ファウルフライ
6L	[ライナーアウト] ショート(遊撃)ライナー
5E	[失策] 三塁手の捕球失策
5E→3	[失策]三塁手の一塁へ低い悪送球 → 高投 → 低投 → 左右
5-3E	[失策] 三塁手の好送球を一塁手が捕球失策
7E	[失策] レフト(左翼)フライ落球
IF-2E	打撃妨害(インターフェアランス) 捕手に失策を記録
ILB	反則打球(イリーガルバattedボール)
ILP	反則投球(イリーガルピッチ)
X 4	守備妨害(二塁手の守備を妨害) セカンドゴロに当る(打者に安打を記録)
OB	走塁妨害(オブストラクション) 妨害した野手に失策を記録 OB-6E
LO	ラインアウト(走者アウト)※LO-4 走者の一番近くにいた野手に刺殺
FO	封殺(フォースアウト)
TO	触球(タッグアウト)
AO	アピールアウト

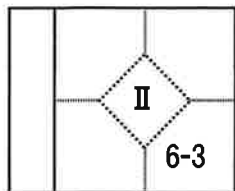
	本塁打(ホームラン) ラン … ランニングホームラン
	三塁打(スリーベース)
	二塁打(ツーベース) エ> … エンタイトルツーベース
	単打(シングルヒット)
	ショート(遊撃)内野安打
	サード(三塁)バント内野安打
	投手強襲安打
	ショート(遊撃)テキサスヒット
Fc	野手選択(フィールダースチョイス)
B	四球(ベースオンボールス・BB) カウント欄に四球目のボール●を記入
HP	死球(ヒットバイピッチ)
IB	申告故意四球(インテンショナルBB)
S'	盗塁(スートルンベース) ●'カウント欄にチェック
DS'	重盗(ダブルスチール) ●'カウント欄にチェック
	犠飛(サクリファイスフライ)
	犠打(サクリファイスバント) 得点あり
	犠打・失策 犠打、投手一塁に悪送球
	犠打・野選 投手、二塁に送球セーフ
W'	暴投(ワイルドピッチ) ●'カウント欄にチェック
P'	捕逸(パスボール) ●'カウント欄にチェック
BK'	ボーク(BALK) ●'カウント欄にチェック
4IF	インフィールドフライ セカンド(二塁)へのインフィールドフライ
⇐	送球間の進塁 8 ⇒ 2
←	走者1個の進塁、← 走者2個の進塁
} DP	併殺(ダブルプレイ)
PSO	追い越しアウト(パスアウト)

打撃結果の表記

5 ゴロ・ライナー・フライアウトの表記

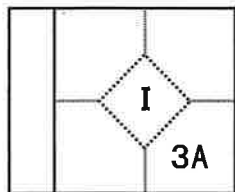
(1) ゴロアウト

◇ 数字は守備位置で、[-] は送球を表す。



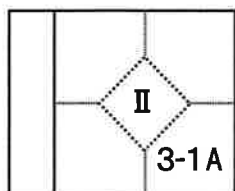
《ショートゴロ》

◇ ショートゴロを捕球後一塁へ送球しアウト、二死となる。



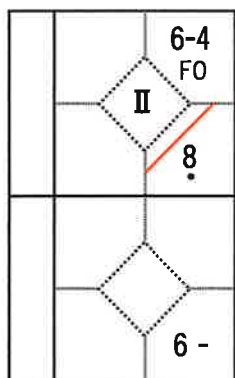
《ファーストゴロ》

◇ 一塁手が打球を捕り、そのまま一塁ベースを踏み、アウトにした。  
※ 「A」は一塁ベース。



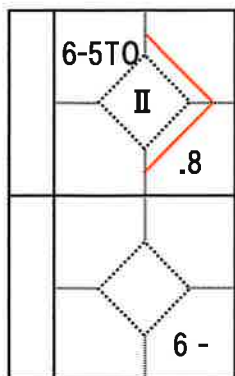
《ファーストゴロ②》

◇ 一塁手が打球を捕り、ベースカバーの投手へ送球しアウトにした。  
※ 投手がトスを受け、打者走者にタッグしアウトにした場合、(3-1 T.O.)となる。



《ゴロの打球、先行走者を封殺》

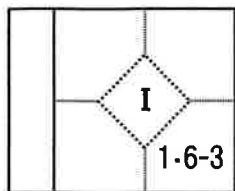
◇ センター前への安打で出塁した走者が、次打者のショートゴロで二塁アウト、二死となった。  
6-4 と送球、「封殺 (フォースアウト)」である。



《ゴロの打球先行走者をタッグアウト》

◇ 走者二塁でショートゴロ、2塁走者は三塁を狙うも遊撃手が三塁へ送球し、タッグアウトにした。  
6-5 と送球、「T.O (タッグアウト)」である。

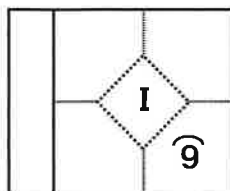
※ 6-⑤と送球してセーフになった場合、打者の一塁出塁を安打とするか、野手選択なのかプレイを注視し、一塁へ送球していればセーフだと思えば安打、アウトにできた思えば野手選択を記録する。



《ゴロの打球複数の内野手が処理》

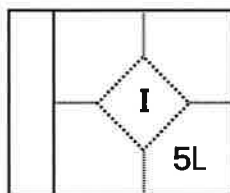
◇ 打球は投手を強襲し遊撃方向へ転がる。遊撃手がその打球を捕り一塁へ送球しアウトにした。  
打球に触れた投手「・」で表す。

(2) ライナー・フライアウト



《ライトフライ》

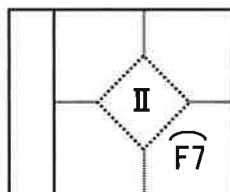
◇ ライト「9」の上にフライを表す「^」を記入。



《サードライナー》

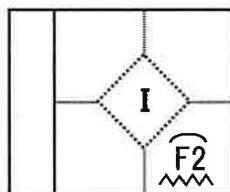
◇ サード「5」の右にライナーを表す「L」を記入。

(3) ファウルフライアウト



《レフトへのファウルフライ》

◇ ファウルを表す「F」を守備位置の前に記入。守備位置の上に「^」記号を記す。

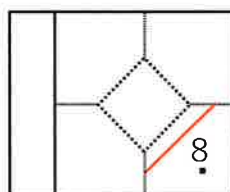


《キャッチャーへのバントファウルフライ》

◇ ファウルフライを表す「F」とともに、バントを表す「^^^」を下方に記入。

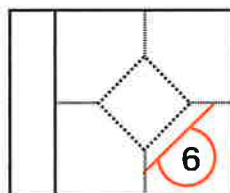
6 安打の表記

(4) 【安打 (単打・長打)】



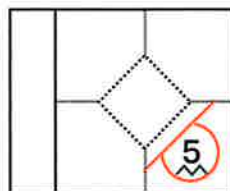
《単打》

◇ センター前への安打。  
守備者「8」の下に「・」を記し、センター前の打球であることを表す。



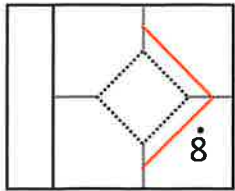
《内野安打》

◇ ショートへの内野安打。  
守備者「6」を内野安打のマークで囲む。

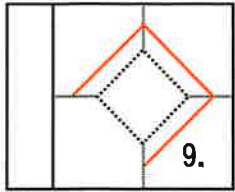


《内野安打②》

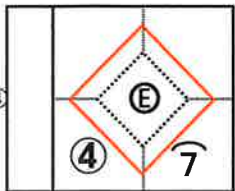
◇ サードへの内野安打。  
守備者「5」を内野安打のマークで囲む。  
バントを表す「^^」下方に記入。



**《二塁打》 ツーベース**  
 ◇ センターオーバーの二塁打。守備者「8」の上に「・」を記し、センターを超えたことを表す。

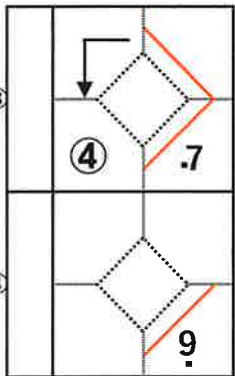


**《三塁打》 スリーベース**  
 ◇ ライト線の三塁打。守備者「9」の右に「・」を記し、ライト線の安打を表す。



**《本塁打》 ホームラン**  
 ◇ レフトオーバーの本塁打。中央に得点記号(自責点あり)を記入する。④番打者の打点「④」を記入。

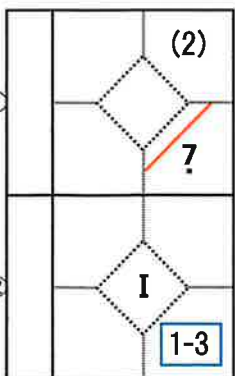
**7 打点の表記**



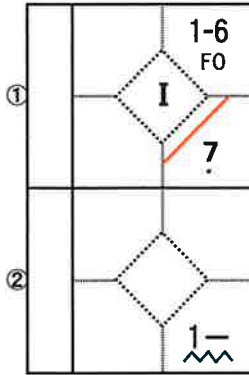
**《打点》**  
 ◇ レフト線に二塁打で出塁した走者が、④番打者のライト前安打で得点。④番打者に「打点」を記録。  
 ※ 打点が記録されたときには、その打者の打順を「○」で囲む。

**8 犠打・犠飛の表記**

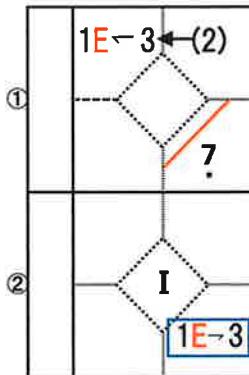
- ◆ 犠牲バント (サクリファイスバント)  
打者のバントで走者を進ませ、打者は一塁でアウトになったとき。
- ◆ 犠牲フライ (サクリファイスフライ)  
無死又は一死で打者が外野に飛球又はライナーを打ち、外野手もしくは外野まで回り込んだ内野手がこれを捕球後、走者が本塁に達し得点した場合。



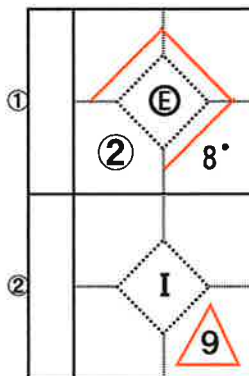
**《犠牲バント》 9,08(a)(b)**  
 ◇ レフト前安打で出塁した走者が、②番の投手前バントで二塁に進塁し「犠打」が記録される。  
 犠打は送球内容を    で囲む。  
 ※ 打点有りの犠打は    で囲む。



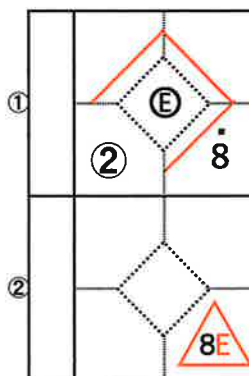
**《送りバント失敗》 9,08(c)**  
 ◇ ②番が投手前へ送りバントを試みるが、二塁に送球されフォースアウトになり、打者走者は一塁に生きる。



**《犠牲バント②》**  
 ◇ レフト前安打で出塁した走者が、②番の投手前バント一塁悪送球で一挙に三塁へ進塁。打者は「犠打失策」で一塁出塁。一塁走者の二塁進塁は犠打、三塁進塁は投手の一塁悪送球で進塁。投手に失策を記録。(連続プレイ表記 ← を記入。)  
 ※ 三塁進塁の走者自責点の想定塁は二塁。



**《犠牲フライ》 9,08(d)**  
 ◇ 右中間三塁打で出塁した走者が、②番のライトフライで得点し、「犠飛」が記録される。  
 犠飛は打点なので    で囲む。  
 ※ 打者に「打点」、打数なし。投手に「失点・自責点」を記録。

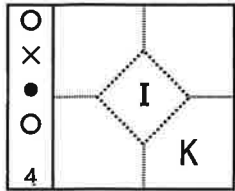


**《犠牲フライ②》 9,08(d)(注)**  
 ~落球した場合の扱い~  
 ◇ ②番のセンターフライを中堅手が落球。3塁走者は落球にかかわらず得点した。  
 ※ 外野手が捕球仕損じたときに走者が得点した場合、仮にその打球が捕えられたとしても、捕球後走者が得点できたと、「記録員が判断」すれば、打者に犠飛と打点、中堅手に失策、投手に自責点を記録する。

[注意]  
 浅いフライで、明らかにその落球(失策)を見て得点したと判断したときは、犠飛は記録せず、失策(落球)による得点とし、打点もなし。

## 9 三振の表記

“三振の記号は「K」”

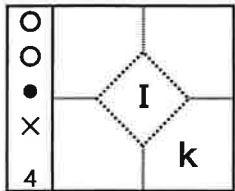


### 《三振》見逃し「O」

- 1球目、見逃しストライク カウント 0-1
- 2球目、空振りストライク カウント 0-2
- 3球目、ボール カウント 1-2
- 4球目、見逃しストライク カウント 1-3 三振

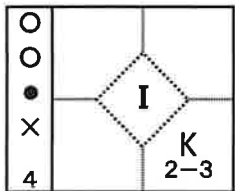
※ 三振目の投球内容も記入すること。

見逃し三振は「O」、空振り三振は「X」、の投球記号で区別する。



### 《三振》空振り「X」

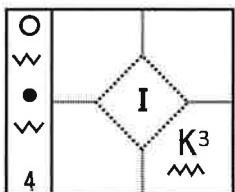
- 1球目、見逃しストライク カウント 0-1
- 2球目、見逃しストライク カウント 0-2
- 3球目、ボール カウント 1-2
- 4球目、空振りストライク カウント 1-3 三振



### 《三振》送球死

- 捕手から一塁送球しアウトの場合
- 1球目、見逃しストライク カウント 0-1
  - 2球目、見逃しストライク カウント 0-2
  - 3球目、ボール カウント 1-2
  - 4球目、空振りストライク カウント 1-3 三振

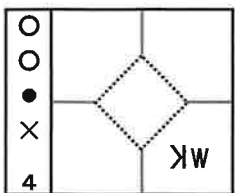
※ 三振目のストライクを捕手が捕球出来ず打者が走者となったため、捕手から一塁へ送球しアウトとした。



### 《三振》スリーバント失敗

- 1球目、見逃しストライク カウント 0-1
- 2球目、バントファウル カウント 0-2
- 3球目、ボール カウント 1-2
- 4球目、バントファウル カウント 1-3 三振

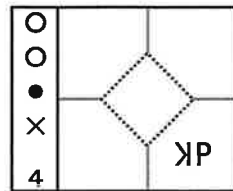
※ 三振目（バントファウル）の投球内容も記入する。



### 《三振》三振と暴投

- 1球目、見逃しストライク カウント 0-1
- 2球目、見逃しストライク カウント 0-2
- 3球目、ボール カウント 1-2
- 4球目、空振りストライク カウント 1-3

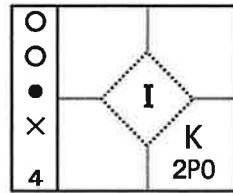
※三振目の投球が暴投となり、打者は一塁に出塁、三振振り逃げで一塁出塁の場合は「KW」「W」、三振振り逃げで一塁アウトの場合は「K」、  
【 個人記録：投手に三振と暴投、打者に三振を記録



### 《三振》三振と捕逸

- 1球目、見逃しストライク カウント 0-1
- 2球目、見逃しストライク カウント 0-2
- 3球目、ボール カウント 1-2
- 4球目、空振りストライク カウント 1-3

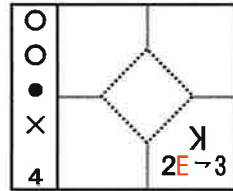
※ 三振目の投球を捕手が逸らし、打者は一塁に出塁。  
【 個人記録：投手と打者に三振、捕手に捕逸を記録 】



### 《三振》走塁放棄アウト

- 1球目、見逃しストライク カウント 0-1
- 2球目、見逃しストライク カウント 0-2
- 3球目、ボール カウント 1-2
- 4球目、空振りストライク カウント 1-3 三振

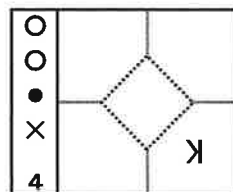
※ 三振目のストライクを捕手が捕球出来ず打者が走者となり、ダートサークルを出て審判員に走塁放棄を宣告されて、プットアウト(捕手に刺殺)になる。



### 《三振》失策出塁

- 1球目、見逃しストライク カウント 0-1
  - 2球目、見逃しストライク カウント 0-2
  - 3球目、ボール カウント 1-2
  - 4球目、空振りストライク カウント 1-3
- ※三振振り逃げセーフ K

※ 三振目のストライクを捕手が捕球出来ず打者が走者となり、捕手が一塁へ悪送球しセーフとなった。  
【 捕手に失策を記録 】



### 《三振》振り逃げ 9,15(a)(5)

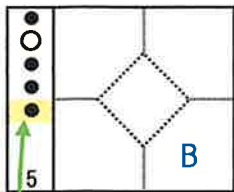
- 1球目、見逃しストライク カウント 0-1
- 2球目、見逃しストライク カウント 0-2
- 3球目、ボール カウント 1-2
- 4球目、空振りストライク カウント 1-3

※塁に走者がいて、三振目の投球を捕手が逸らしたが、いずれかの走者をアウトにした間に塁。  
【 暴投、捕逸の付かないケース 9,13(b)【原注】

(注意)

“振り逃げ”はバットを振ったか、振らなかったかは関係なく、捕手が第三ストライクを捕球できなければ、“振り逃げ”の状態になる。

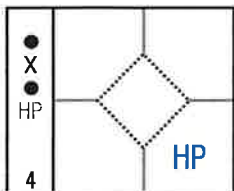
## 10 四球・死球の表記



### 《四球》ベースオン ボールス「BB」

- 1球目、ボール
- 2球目、見逃しストライク
- 3球目、ボール
- 4球目、ボール
- 5球目、ボール 4-1 となり 四球

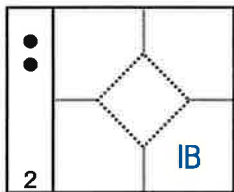
※ 四球目の投球内容も記入、この四球を得たときに進塁に関するプレイがあった場合、✓ 点で関連表示等するため、



### 《死球》ヒットバイピッチ「HP」

- 1球目、ボール
- 2球目、空振りストライク
- 3球目、ボール
- 4球目、投球が打者に当たり死球となる。

※ 四球目となる投球が打者に当たった場合も死球



### 《申告故意四球》

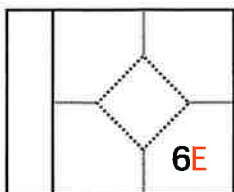
- 1球目、ボール
- 2球目、ボール
- 2球投球したところで、故意四球を申告、投球数は2球のカウント。

※ 申告制の故意四球の場合は、投球の記入が不要となるがカウントの途中からの場合は、それまでの投球は球数に含む。表記は「IB」。

「IB」 インテンショナルベースオンボールス

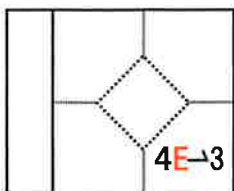
## 11 失策の表記

失策の表記は、攻撃側チームを利用する行為をした野手、すなわちアウトになるはずの打者又は走者を生かしたり、走者に1個以上の進塁を許すようなミスプレイをした野手に記録する。



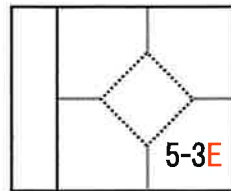
### 《失策》捕球ミス

- ◇ ショートゴロを遊撃手がトンネルまたは弾いて打者走者を一塁に生かす。
- 【 守備記録：遊撃手の失策 】
- ※ 捕球ミス後に送球は、6E-3



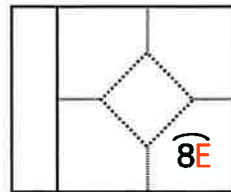
### 《失策》悪送球

- ◇ セカンドゴロ、二塁手が一塁へ送球するも悪送球となり打者走者を一塁に生かす。
- 【 守備記録：二塁手の失策 】
- 高投    ↗ 低投    — 左右



### 《失策》捕球者のミス

- ◇ サードゴロ、三塁手が一塁へ送球するも一塁手が容易に捕球できる送球を落球し、打者走者を一塁に生かす。
- 【 守備記録：一塁手の失策 】



### 《失策》フライ落球

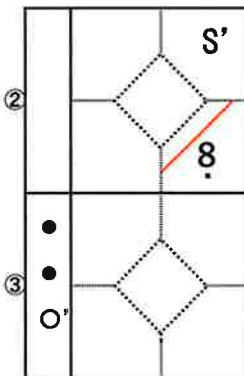
- ◇ 容易捕球できるセンターフライを中堅守が落球、打者走者を一塁に生かす。
- 【 守備記録：中堅手の失策 】

## 12 盗塁・盗塁死の表記

### 《盗塁》9,07(a)

投球と同時にあるいは投球に先立ってスタートをし、1個の塁を進んだ時には、その走者に盗塁が記録される。

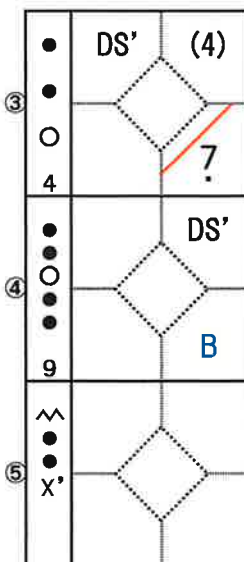
牽制で追い出された走者が、守備側のミスなく次塁に進んだときもその走者に盗塁を記録する。



### 《盗塁》スチール

- ◇ ②番がセンター前に安打を打ち一塁に出塁。
- ③番の3球目に盗塁成功。

※ 盗塁時の投球と「S」に✓チェックマーク



### 《重盗》ダブルスチール

- ◇ ③番はレフト前安打で出塁、④番四球で一塁・二塁。⑤番の4球目に重盗（ダブルスチール）に成功し、各走者に重盗が記録される。

※ 重盗 ダブルスチールの記号は DS  
※ 三重盗トリプルスチールの記号は TS

※ 盗塁時の投球と「DS」に✓チェックマーク

**《盗塁死》**

走者が次塁に進んだときに「盗塁」と記録されるような場合にアウトとなったときは、「盗塁死」が記録される。

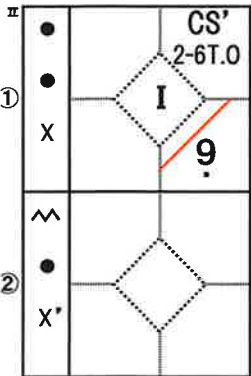
- (1) 盗塁を企てた走者、
- (2) 塁を追い出されたために次塁へ進もうとした走者（元の塁へ戻ろうとした後に次塁へ進もうとした走者も含む）、
- (3) 盗塁を企ててオースライドした走者、

**《盗塁死》コートスティーリング**

CS: Caught Stealing

◇ 1塁走者が②番の3球目に盗塁を試みるも、捕手「2」からベースカバーの遊撃手「6」に送球されタッグアウトとなる。  
この場合、盗塁死となる「CS」を記入する。

※盗塁企図時の投球と「CS」に✓マーク  
「CS」は記入しなくても可。



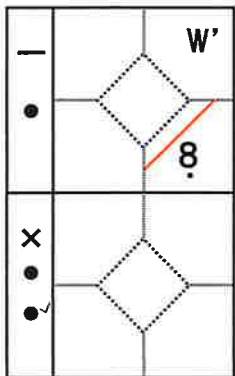
**13 暴投・捕逸・ボークの表記**

**《暴投》ワイルドピッチ**

◇センター前で出塁した走者が次打者の3球目に暴投で二塁に進塁。

※ 暴投した投球と「W」に✓チェックマーク

【投手記録：暴投を記録】

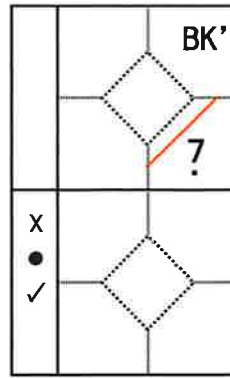
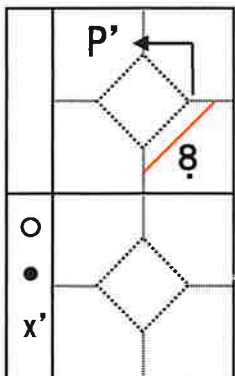


**《捕逸》パスボール**

◇センター前で出塁した走者が次打者の3球目に捕逸で一塁に三塁まで進塁。

※ 捕逸した投球と「P」に✓チェックマーク  
投球欄×は空振り。

【投手記録：捕逸を記録】



**《ボーク》6.02(a)ペナルティー**

◇次打者の3球目を投げたときにボークが宣告され、一塁走者は二塁に進む。

※ 投球しているも、ボークが宣告されればノーカウントになるので、この場合は、投球2球目の下に ✓ チェックマーク

【投手記録：ボークを記録】

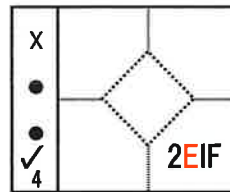
**14 妨害の表記**

**《打撃妨害》Interference**

◇インターフェアランス「5.05(b)(3)」4球目、捕手が打者を妨害（振ったバットにミットが当たるなど）したため、打者に一塁が与えられる。投球数はカウントする。

【守備記録：妨害した捕手に失策】

【打撃記録：妨害出塁とし打数に含まない】

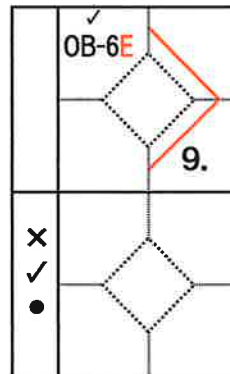


**《走塁妨害》Obstruction**

◇二塁牽制で追い出された走者が二三塁間で挟まれるも、ボールを持たない遊撃手と接触、オブストラクション（走塁妨害）が宣告された。宣告された走者は三塁へ進む。

※ 牽制した時期と「OB」に✓チェックマーク

【守備記録：妨害した遊撃手に失策を記録】



**《走塁妨害》6.01h 定義50**

ボールを持たない野手が走者の走塁を妨げたときに適用される。

妨害された走者に対してプレイが行われていた場合、ボールデッドとし妨害がなければ達したと思われる塁まで進塁が許される。

妨害した野手に失策を記録する。

**《守備妨害》Interference**

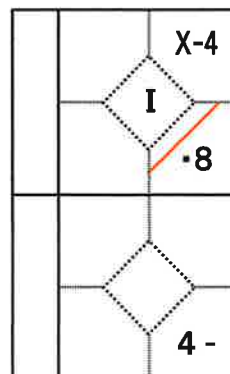
走者が打球を処理しようとした野手を妨げる。

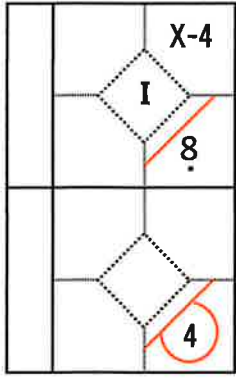
◇打者は二塁方向にゴロを打つ、打球を処理しようとした二塁手に1塁走者が接触し守備を妨げたため走者はアウトになり、打者は一塁に生きる。

※ 守備妨害は「X」で表記。

【記録：走者アウト、打者に打数を記録】

打球が安打制であれば安打を記録してよい。





### 《打球が走者に当る》

◇ 打者は一二塁間にゴロを放つ、打球が1塁走者に当り、走者アウトとなる。

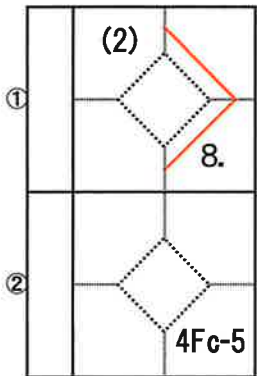
※ アウトとなった走者の欄には「X-」の後に、その走者の一番近くにいた「守備者」の数字「4」を記入。

【記録：野手に触れていないフェアの打球が走者に触れた場合、打者には**安打**を記録する】 9.05(a)(5)

## 15 野手選択の表記

### 《野手選択》定義28

主に、フェアのゴロを扱った野手が打者走者を一塁でアウトにする代わりに、前を走る走者をアウトにしようとして他の塁に送球するも、結果的にアウトが一つも取れなかった場合に記録する。また、野手がボールを持ち過ぎたため（ミスプレイではなく、走者に余分な塁を与えた場合にも野手選択を記録する。



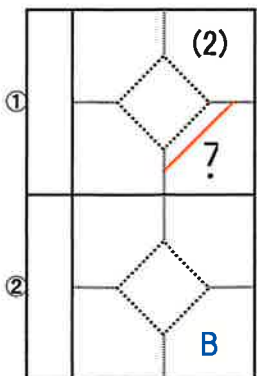
### 《野手選択》フィルダースチョイス

◇ セカンドゴロを二塁手(4)が選択守備で三塁手(5)に送球し、結果オールセーフ。

※ 打者の欄に、野手選択「Fc」記号を記入し、進塁した走者には打者の打順を( )で囲み記入。

## 15 進塁の表記

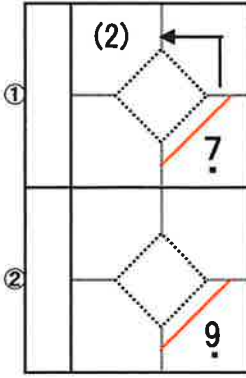
『次打者の打撃結果により……』



### 《1個の進塁》

◇ 進塁した塁(次塁)に、進塁させた打者の打順(数字)を( )で囲み記入。

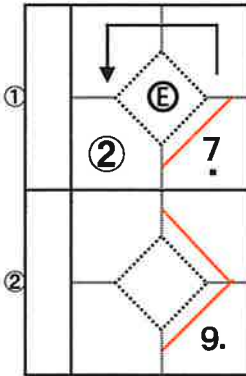
②番の四球で1塁走者押し出されて二塁へ。



### 《2個の進塁》

◇ ②番のライト前安打で、1塁走者は二塁を回り三塁へ進塁。

※ 通過した塁は矢印を記し、進塁した塁(この場合は三塁)に打順の数字を( )で囲み記入。

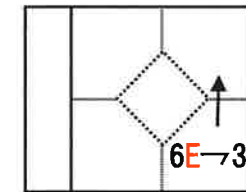


### 《3個の進塁》

◇ ②番がライト線二塁打、1塁走者は二塁、三塁を回り一挙ホームインする。

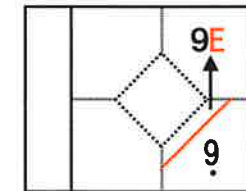
※ 通過した塁は矢印を記し、進塁した塁(この場合は本塁)に打順の数字を記入。このケースでは打点があるので打順の数字を○で囲む。

ⓔは自責点。



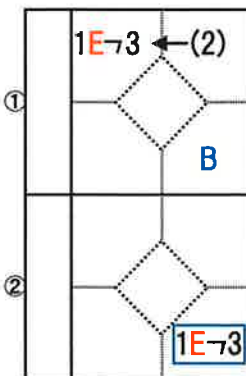
### 《失策進塁》

◇ サードゴロを三塁手が一塁へ悪送球。それを見て打者走者は二塁に進塁。※ 進塁先の二塁には何も記入せず、連続したプレイなので→で表記。



### 《安打と失策進塁②》

◇ ライト前安打を右翼手がハンプルし、二塁への進塁を許す。(1ヒット1エラー) 連続プレイは→で表記。



### 《犠打失策と進塁③》

◇ 一個の進塁した走者に余塁を与える。

②番のバントで一塁走者二塁進塁、投手の一塁悪送球で三塁へ進塁。

連続プレイは→で表記。

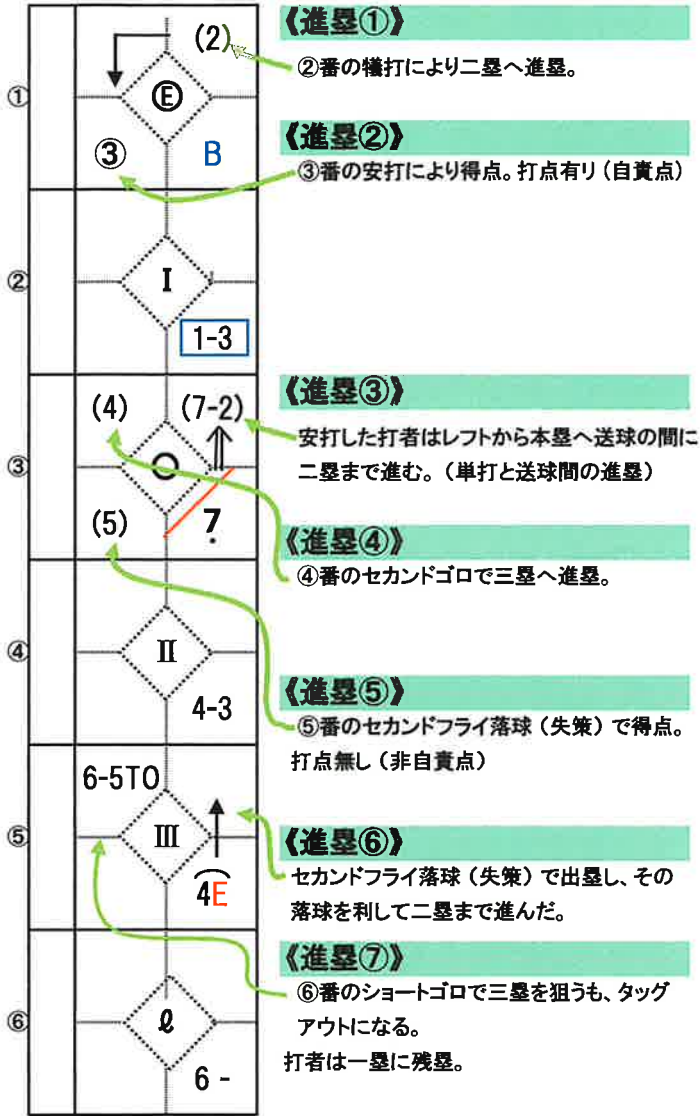
※ 進塁先の三塁に1E-3を記入。

2個の「E」は集計上一個。

三塁へ進んだ走者、自責点上の想定塁は二塁。

【投手に失策を記録】

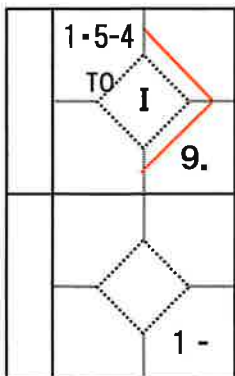
## 15 連続プレイでの進塁の表記



## 16 ランダウンプレイ

### 【ランダウンプレイ】

走者を塁間に挟んでアウトにしようとする守備側のプレイをいう。



### 【ランダウンプレイ】定義68

◇ 投ゴロで二塁走者が飛び出し二三塁間で挟まれる。

投手(1)→三塁手(5)→二塁手(4)と送球されタッグアウトとなる。

※ アウトになった場合、そのアウトに関わった野手すべてを記入する。

【ランダウンプレイ に関する注意事項】

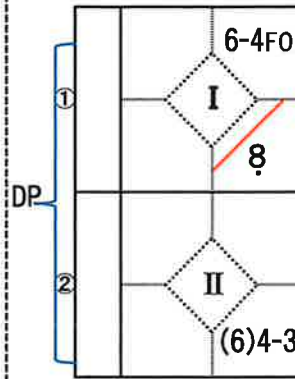
ランダウンプレイ中に……

- ① 野手のミスプレイで走者を生かした(進塁又は帰塁)場合、その野手に失策を記入する。
- ② 野手のミス(不手際)がなく走者が進塁した場合、「野手選択」による進塁と記録する。
- ③ 野手のミスなく元の塁へ戻った場合、記録的には何もなかったことになる。
- ④ けんせいで追い出された走者が、野手のミスなく次塁に進んだときは盗塁を記録する。

## 17 併殺の表記

### 【併殺】

ボールが投手の手を離れてからボールデッドになるまでか、あるいはボールが投手の手に戻って投手が次の投球姿勢に移るまでの間に、途中に失策又はミスプレイ(失策と記録されない)がなく、2人または3人のプレーヤーをアウトにした場合。



### 【併殺】ダブルプレイ 定義23

◇ 安打で出塁の走者を一塁に置き、次打者はショートゴロ、遊撃手(6)から二塁手(4)に送球され封殺(1アウト)。さらに二塁手(4)から一塁手(3)に送球され封殺(2アウト)連続するアウトなので併殺となる。

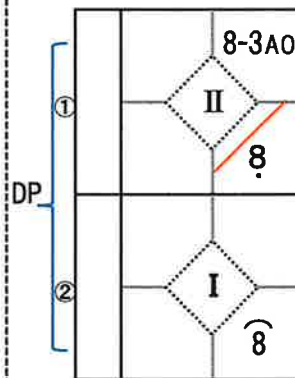
【守備記録: 遊撃手、二塁手、一塁手に併殺参加】

【打撃記録: 打者に「併殺打」を記録】

※ 「併殺打」は打撃記録。

※ 「併殺」は守備記録。

“併殺打” フォースダブルプレイまたはリバースダブルプレイとなるゴロの打球。



### 【併殺②】ダブルプレイ 定義23

◇ 安打で出塁した走者を一塁におき、次打者はセンターフライでアウト(1アウト)。1塁走者が飛び出していたので、中堅手(8)から一塁手(3)に送球され帰塁する前にアウトになる(2アウト)。連続するプレイなので併殺となる。一塁でのアウトはアピールアウトなので「A.O」。

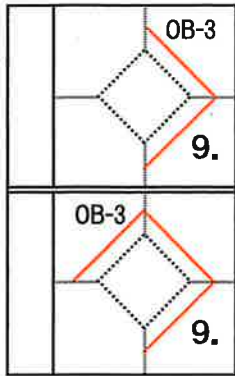
【守備記録: 中堅手と一塁手に併殺参加】

【打撃記録: 打数「1」だけ】

“主なアピールアウト”

- ① 飛球が捕らえた後走者が再度の触類(リタッチ)を果たす前に、身体あるいはその塁に触球された場合。
- ② 進塁に際して走者が塁に触れ損ねた(空過)とき、塁を踏み直す前に、身体あるいはその塁に触球された場合。

## 18 走塁妨害の表記



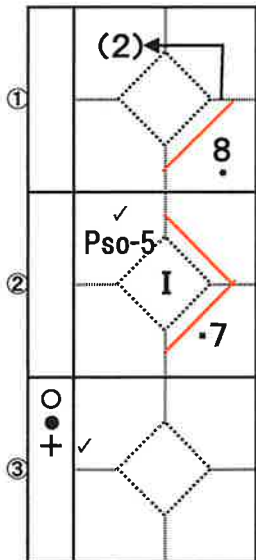
### 《走塁妨害》オブストラクション

◇ 右翼線に安打、打者走者二塁に達するも一塁手の走塁妨害があった。6. 01(h)(2)により審判員は二塁に留めた。記録は、一塁手に失策は付けられないが、妨害の事実は記入する。

◇ 右翼線に安打、打者走者二塁に達するも一塁手の走塁妨害があった。6. 01(h)(2)により審判員は三塁を認めた。記録は、一塁手に失策は付けられないが、妨害の事実は記入する。  
※ 記録は、9.12(c)【原注】【注】により三塁打。

【原注】 審判員がオブストラクションによって、打者または走者に与えた塁と、プレイによって打者または走者が進むことができたと思われる塁とが一致したと記録員が判断したときには、オブストラクションをした野手に失策を記録しない。

## 18 追い越し、走塁放棄アウトの表記



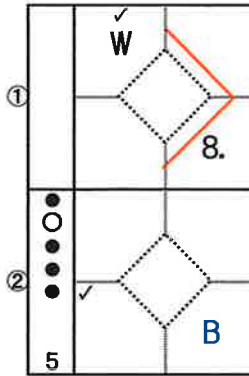
### 《追い越し》パース 5,09b(9)【原注】

◇ 走者二三塁で③番、スクイズ空振り、三塁走者挟まれ、その間に二塁走者三塁ベースに触塁、三塁走者帰塁時に三塁ベースを踏み越して審判員に追い越しアウトを宣告された。三塁走者タッグを免れて帰塁。  
※ 後位の二塁走者が三塁走者と位置が入れ代わりアウト。  
③番打者の打撃(バント空振り)に関連は ✓

### 《走塁放棄》5,09(b)(2)【原注】

◇ 走者二三塁で③番、スクイズ空振り、三塁走者挟まれ、その間に二塁走者三塁ベースに触塁、三塁走者帰塁時に三塁ベースから遠ざかって通り越し、審判員に走塁放棄を宣告された。  
※ 三塁走者アウト(X)符号で対応  
二塁走者アウトの間の進塁で(FC)符号で対応  
③番打者の打撃に関連は ✓

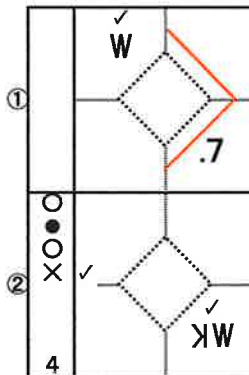
## 18 珍しいプレイの表記



### 《ボークの球の暴投》6,02(a)

◇ ボークの球が暴投四球に当り、打者および走者が1個進塁した。【規則説明1】  
※ プレイはボークと関係なく続けられ、ボークは無かったものとして投球数に入れる。

ボークの球が死球に当り、すべての走者が押し出される場合は、プレイはボークと関係なく続けられるが、一人でも走者が進めない場合は、ボークを適用して走者を1個進め、打者はボーク発生時のカウントで打ちなおす。

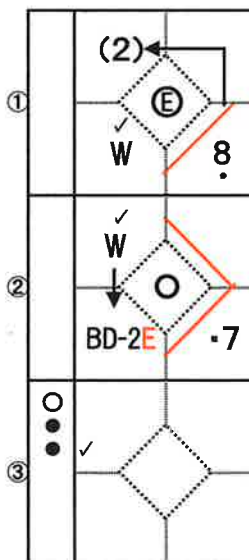


### 《ボークの球の暴投》6,02(a)

◇ ボークの球が暴投第3ストライクに当り、打者及び走者が1個の塁を進んだ。【規則説明1】

※ プレイはボークと関係なく続けられ、ボークは無かったものとして投球数に入れる。

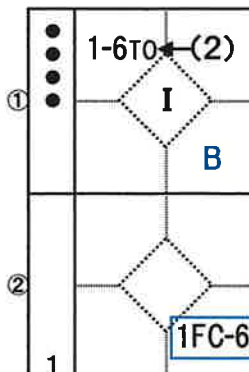
無死及び一死で走者が一塁にいる場合は、ボークを適用して走者を1個進め、打者はボーク発生時のカウントで打ちなおす。



### 《暴投プラス失策》5,06(b)(4)(H)【規則説明】

◇ 走者二三塁、③番の3球目が暴投になり、再度処理を行った捕手がボールに触れて、ダッグアウトに入れてしまった。  
記録は、①番、暴投で得点(自責点)  
②番、三塁進塁は暴投、  
得点は、ボールデッドで捕手に失策(非自責)

※ ③番打者の投球「●」と暴投「W」に ✓



### 《犠打野選走塁死》9,08(c)【注1】

◇ ①番、四球で出塁、  
②番、の投手前バントで、二塁をオーバーライドして、投手から遊撃手に送球されタッグアウト、  
※ 一塁走者の二塁オーバーライドは②番のバントで二塁を確保したことになり、送りバント成功、タッグアウトは走塁死となる。連続プレイなので → でつなく。